



『From7 第58回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時：平成26年5月7日(水) 19:15-21:00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1. 【クラレノリタケデンタル新製品説明会】

I. 簡単操作で高い接着力を発揮！従来品に新しい機能をプラス

～セルフアドヒーシブレジンセメント SAセメントプラスオートミックス～

赤松秀泰（マーケティング・営業本部 国内営業部 大阪営業課：東京駐在）

II. 最新ジルコニアクラウン／フレームの実際

～カタナジルコニア New Materials マルチレーヤー度（ML）とハイトランス（HT）～若山 真

（マーケティング・営業本部 国内営業部 東京営業課 主管）

『近年の歯科臨床においては、CAD/CAM技術の進歩や患者の審美的治療への要求の高まりから、「メタルフリー修復」が普及しており、歯冠修復物の材質としても、セラミックやレジン系材料が選択されるケースが増えてきている。こうした審美修復において、接着性レジンセメントは欠くことのできない材料であり、「メタルフリー修復」の潮流とともに進化を遂げてきた。中でも、プライマーやボンディング材による歯質への前処理を必要としないセルフアドヒーシブ型のレジンセメントは、多様化する補綴修復材料（例えば、ジルコニア、金属合金など）に対しても、基本的には専用の表面処理材を使用することもなく、チェアタイムの短縮、術者のテクニックによる影響が少ないといった特性をもつことから、臨床に広く使われるようになってきている。今回ご紹介させて頂く「SAセメントプラスオートミックス」は従来品から大幅に操作性、物性が向上された商品であり、皆様の臨床にお役に立てると確信しております。又、昨年上市されたKATANAジルコニアマルチレイヤード（ML）は色境のないグラデーションカラーで、簡便に高透過性かつ高審美的なフルジルコニアクラウンの製作が可能となり、フレーム用高透光性ハイトランス（HT）シリーズは、従来より透光性が更に向上し、好評を得ています。この度はこの2製品に関しご紹介をさせていただきます。』

2. 【インプラント上部構造のデザイン】

歯科技工士 藤井 春菜（白鳥歯科インプラントセンター）

『近年インプラント治療も広く認知され、患者さんの治療の選択肢の一つとなってきました。今回は当院で再作製になったケースをご紹介し、どういうデザインが良いのか考えてみたいと思います。』

3. 【審美領域の治療について考える】

歯科医師 白鳥 清人（白鳥歯科インプラントセンター）

『最近特に審美的な要求が高い患者が多いように思います。今回は、補綴のケースとインプラント治療の審美ケースについてケースを提示して審美と機能の調和について考察したいと思います。』